

練二通信

No. 409

令和3年4月30日

練馬第二小学校

校長 濱中 一

健康面からICT機器を考える

校長 濱中 一

文部科学省のGIGAスクール構想により、本校にも年度末にタブレット端末が全員に貸与されました。年度が変わり、二年生以上は引き続き端末を活用しています。準備が整い次第、一年生も六月頃を目途に使用を開始する予定です。

これまでタブレット端末については、授業のどの場面で使うか、家庭に持ち帰ってどう使うか、SNSルールをいかに守るか、本体をどう保管するか等、「使い方」が話題の中心でした。これらは、今後も引き続き考えていくべき課題です。

ここで、「健康」という視点からタブレット端末を考えてみます。現状のコロナ禍で、リモート学習をいかに推進するかが話題の重点で、子供の健康への影響については、話題にはなっていないものの、それほど重視されてこなかったように私は思います。

パソコンやスマートフォン、ゲーム機器、タブレットなどのICT端末に共通するのは、夢中になるとあっとい

う間に時間が経ってしまうことです。そして子供たちはその間、画面と顔との距離の近さを気に留めていません。

自分のペースで、やりたいことを誰にも邪魔されずに操作しているうちに、あっという間に三〇分、一時間が経ってしまいます。かく言う私も、通勤途中にはつい、よくない姿勢でスマホ画面をじっと見続けてしまいます。

長時間、近距離で画面を眺め続けることは、成長段階の子供たちの健康にはよくありません。画面からの距離は三〇cm以上と言われているが、はるかに近い距離で画面を眺め続ける子供が多くいます。ICT端末による視力低下や姿勢悪化、肩こりなどの健康への悪影響は、可能な限り回避されるべきです。また、研究によれば、太陽の光を浴びて遊ぶことで、水晶体の変形を押さえるホルモンが分泌されることが分かっているとのこと。その根拠から、週に一五〇分の外遊びを義務付けている国もあるそうです。練二小で重視している外遊びの励行と休み時間の

保障は、これらの目的にも合致しており、引き続き子供たちに促していきま

す。ここで、教科書を音読する正しい姿勢、ノートに字を書く正しい姿勢も、日常から繰り返し指導すべきです。正しく鉛筆を持たないと、鉛筆の先が見えず、崩れた姿勢で字を書くようになります。目と紙の距離は近くなり、視力にもよくありません。鉛筆を正しく持つまでには何カ月もの期間が必要です。やつと身に付いても、しばらくすると持ち方が乱れています。正しい鉛筆の持ち方と姿勢を身に付けるには、指導する大人の根気が必要です。何度でも、何歳になっても、根気強く指導し続けなければなりません。

学校では、タブレット使用時でも、その他の学習の時でも、正しい姿勢、画面やノートとの適切な距離を繰り返し指導していきます。お子様の健康に大きくかわることで、是非ご家庭でも、根気強くご指導ください。

ICT時代の流れにしっかりと乗りながら、子供たちを人間らしく健やかに育てていきたいと考えています。

校庭東側の桜の木が、強風により倒れてしまいました。長い間練二小の歴史を見守り続けた桜には、感謝の気持ちでいっぱいです。新しく桜を植え替えるとともに、他の桜の安全対策を施していきます。

四月の朝会より

○一年の最初に目標を立てたことでしょうか。大切なのは「続ける」こと。私も一年間笑顔であいさつをしています。

○休み中の強風で、桜の木が倒れてしまった。けが人がなくて何よりだった。長年練二小を見守ってくれた桜に感謝。

○緊急事態宣言は三度目。慣れて気を緩めてはいけません。制限はあるが、大きく学校生活が変わるわけではない。これまでどおり「マスク・手洗い・距離」をしっかりやっていこう。

五月の行事予定

- 6 (木) はたらく消防写生会 (一、二年)
- 7 (金) 中学年遠足予備日
- 11 (火) 個人面談①
- 13 (木) 低学年遠足 (一、二年) 個人面談②
- 17 (火) 個人面談③
- 18 (火) 個人面談④
- 19 (水) 避難訓練
- 21 (金) 低学年遠足予備日
- 24 (火) 個人面談⑤
- 25 (火) 開校記念日 (休業日)
- 27 (木) 国学力調査 (六年)
- 31 (月) セーフティー教室 (一、四年)

★今月の生活目標

きまりをまもろう

★週の生活目標

- ・チャイムの合図を守る
- ・早く集合し、話を静かに聞く

離任式を終えて

教務部

四月二十八日、Google meet でリモート離任式を行いました。子供達は、じつと教室のテレビをみつめ、離任された先生のお顔が映ると喜びの表情を見せ、ご挨拶の後には大きな拍手を送っていました。

緊急事態宣言下ということもあり、全校で一同に会することはできませんでしたが、六時間目には、体育館や視聴覚室などの広い部屋に学年ごと集まり、お世話になった先生と直接対面しました。久しぶりに再会できた嬉しさとお別れの寂しさに涙する場面もありましたが、先生の話に真剣に耳を傾け、最後には笑顔でお別れをすることができました。

音楽の授業で各クラス録音し、全校で一曲にまとめた「離任式のうた」を放送で聴いてもらうこともでき、感謝の気持ちを届けられたのではないかと思います。

異動された先生方にはこれからも練習二小を見守り、応援していただけると嬉しいです。

